

令和元年度 第3回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務作業部会  
総務部会 議事録

審議会等名 令和元年度 第3回（仮称）南河内中学校区義務教育学校設立準備委員会実務  
作業部会総務部会

日 時 令和元年11月8日（金）午後6時00分～午後8時00分

会 場 南河内中学校会議室

出席者 伊澤行雄 部員、川俣達夫 部員、小野寺明 部員、舘野 勝 部員、  
澤野辰徳 部員、塩濱弘子 部員、海老原忠 部員、竹田昌彦 部員、  
塩沢建樹 部員、倉井典子 部員、近藤善昭 部員、田澤孝一 部員  
【欠席委員】 高山信夫 部員、谷萩昌道 部員、稲見有加里 部員、  
海老原裕子 部員、

市側出席者 （事務局）星野友保 学校教育課課長補佐、森口哲二 同課主幹、稲葉亜希恵 同  
課主幹兼指導主事、土田礼巳 同課主幹兼指導主事、上野保久 同課小  
中一貫教育統括コーディネーター

公開・非公開別 （公開） ・ 一部公開 ・ 非公開

傍聴人 0人

議事録（概要） 作成年月日 令和元年11月11日

1. 開会（星野課長補佐）

2. 部会長あいさつ（海老原部会長）

皆さんこんばんは。夕方のお忙しいところ、またお疲れの所お集まりいただきましてありがとうございます。前回の作業部会の後に、準備委員会、推進協議会、地域説明会が実施されまして、地域の方や委員の方からのご意見等もいただきました。それらを含めて、本日は、改めて校名、そして歴史コーナーについて等の検討事項がありますので、皆様の忌憚のないご意見をたくさんいただいて、より良いものにしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

3. 報告

（1）地域・保護者説明会の報告について

（海老原部会長） 10月28日、29日、30日の3日間、3カ所で地域・保護者説明会が行われましたが、その報告として、事務局より説明をお願いします。

（森口主幹） [資料：南河内中学校区義務教育学校に関する地域・保護者説明会結果報告書] について説明

（海老原部会長） 様々なご意見をいただいた中で、総務部会に関わる部分だけを説明いただきましたが、今の報告内容についてご意見、ご質問等ありますか。学校名について、それほど多くの質問等はなかったと思います。ないようですので、早速議題に入ります。

4. 議題

（1）新校の校名について

(海老原部会長) 議事に入ります。新校の校名について、事務局より説明をお願いします。これは南河内小中一貫教育推進協議会での検討を経て今日に至っていますので、準備委員会及び推進協議会の意見等についても、事務局の方から説明をお願いします。

(森口主幹) [資料：(仮称)南河内中学校区義務教育学校の校名アンケート結果][資料校名に関する準備委員会・推進協議会での意見(要約)]について説明

(海老原部会長) 準備委員会と推進協議会からの意見を事務局から説明いただきましたが、その内容について、もう少し詳しく聞きたいことがあればお願いします。推進協議会においても提案通りでよいということで、5つの候補が認められました。今日は、ここから、更に絞り込んで準備委員会に上げていきたいと思いますが、5点から、目安として3点くらいに絞ればと思います。いかがでしょうか。では、3点まで絞りこんで準備委員会に上げ、本部会での校名についての協議は終了としたいと思います。また、地域にも説明する上で、地域の方が納得できる理由付けが必要だと思しますので、皆さんからご意見いただきたいと思えます。理由を整理していけば、自然と絞られていくのではないかと思います。この3点がふさわしいという明確な理由で決まっていくのが理想ですが、地域の方のご意見にもあったように、「これはふさわしくないのではないか」という観点からでも結構です。どなたからでも結構ですので、ご意見をお願いします。

(竹田部員) 応募点数順に、上から3つがよいと思います。つまり、1番、2番、3番です。

(田澤部員) 前回、欠席したとか、考え直してみたら意見が変わったとか、あれば、本日お集まりの方々に確認した方がよいと思いますが、いかがでしょうか。

(海老原部会長) 再検討した方がいいですか。

(竹田部員) 十分に話し合った気がするので、その必要はないかと思います。

(田澤部員) いらっしゃらなかった方の発言の機会があるといいのかなと思ったものですから。

(舘野部員) 前回欠席しましたが、市民に意見を出してもらった結果を反映して5点に絞ったことに関して、特に問題はないと思います。低学年の子も含め、言えない、書けないような難しい名前でない、子どもたちがわかりやすい学校名がよいと思います。地域の皆さんのアンケート結果を受けて、上から3点を挙げるのは、市民の意見を受けるという意味で、よいのではないかと思います。

(海老原部会長) 十分に議論を尽くしたということで、この5点の候補を検討するということがよいでしょうか。今ご意見があったのは、応募点数順に、上から3点。理由の一つとして、低学年の子でも言えたり書けたりしやすいものということでした。

(田澤部員) 地域にお住まいの皆さんにとって、「南河内」という名前がどれだけ定着しているのか伺いたいと思います。これまで、地名がないから残したい、地名がないから残さない、という両方の意見をいただいています。地域の皆さんの意見として「南河内」が多いということは、間違い

なく、地域の方にとっては「南河内」の名前が大切なものであるということだと思うのですが、実際に部会の皆さんから、その思い入れの深さを聞くことができると理由として入れやすいのではないかと思います。

(海老原部会長) 「南河内」を残していく理由ですね。薬師寺村、吉田村の記憶はありませんが、「南河内」への「親しみやすさ」であるとかですね。

(塩濱部員) 私は上三川町出身です。当時から「南河中」と言っていました。親しみはとともあると思っています。

(海老原部会長) 推進協議会の意見で、知名度が低い、という意見もありましたが、知名度は低いですか。

(舘野部員) 宇都宮市内に勤めていますが、「南河内」より、「薬師寺」の方が知名度はあるようです。しかし友人との話し合いの中で、全く違った名前になったら、出身中学校がなくなってしまう気がして寂しいという話になります。卒業生の思い入れとしては、「南河内」への思い入れは強いと思います。また、南河内第二中学校を気にして、名前を付けることはないと思います。

(伊澤部員) 「南河内」ですずっと来ているので、吉田・薬師寺から検討に入るとすると、校名をまた一から考え直すことになります。せっかくアンケートをとったのだから、その結果を生かして尊重すればよいと思います。舘野部員が言うように、低学年でも言えるようなものがよいと思います。私も、冠の名前の後に「義務教育学校」「小中一貫校」とかを付けなければならぬと思っていました。付けなくてもいいということを経務局に調べていただいということなので、できればアンケートの結果をもとに、選んでいただきたいと思っています。

(海老原部会長) 「南河内」が使われるようになったのは昭和30年だそうで、60年以上は経っているわけです。その意味では、ずいぶん定着していると思います。

(川俣部員) 地元の20歳代から70歳代の方の声を聞いても、「南河内」を残してほしいと言っていました。

(海老原部会長) 幅広い年代の方からも、そのような声が上がっているのですね。

(小野寺部員) 客観的にアンケートを行っているし、思い入れがある方が応募してきていると思うので、その中で多い票が「南河内」だったわけですから、その中で決めるのが、アンケートをやったということの意味になってくるのではないかと思います。

(海老原部会長) アンケートの意見を尊重してということですね。

(澤野部員) アンケートの結果にもあるように、南河内中学校には、薬師寺小学校、吉田東小学校、吉田西小学校の子どもたちが上がってくるのは自然なことなので、「南河内」という名前が自然なのかなと思いました。

(塩沢部員) アンケートの106点の内64点の6割に「南河内」が付いていることは尊重すべきだと思います。

(倉井部員) どの校名がよいか、理由を考えてというとなかなか難しいと思いますが、逆に、大変失礼ながら、カットしていくと考えると、「ゆうがお」は本地区だけの特産ではない。5番の「南河内義務教育小中学校」は長く難しい。

そうすると、1番、2番、3番が合致すると思います。

(海老原部会長) 地域の方のご意見等にも、今のご意見と同様のご意見がありました。

「ゆうがお小中学校」と「南河内義務教育小中学校」を除くということでもよろしいでしょうか。総務部会としては、3つに絞り込んだ候補として、1番、2番、3番を推すということ。理由としては、子どもたちにとって、言ったり書いたりできるような名前であること。近隣の他市町でも「南河内」の名前に親しみがあること。卒業生の「残したい」という思い入れが強いこと。一番多かった意見は、アンケートの結果を尊重していくということ。ということで整理させていただいてよろしいですか。本部会として設立準備委員会に提出する文書については、事務局と部会長の私の方で今のご意見を整理させていただき、報告の文面を作成したいと思いますが、よろしいでしょうか。よろしければ作成後、提出する前に、皆さんにお示ししたいと思います。

ところで、この部会での順位付けはどうしますか。

(田澤部員) 「義務教育学校」は言いにくく、書きにくいというご意見もありましたので、この部会として、2番の「南河内義務教育学校」について話し合っておくべきかと思います。「南河内」を付けるということでもまとまっているのは間違いありませんが、「小中学校」か、「義務教育学校」かの意見も付けた方が、次の委員会も検討しやすいのではないかと思います。

(竹田部員) 「義務教育学校」を付けなくてはならないのではないかとあって、アンケートに回答した人がいるのではないかとおもわれます。そういう意味でも、2番の「南河内義務教育学校」は、3点の中でも一番最後でいいのではないかと思います。1番、3番、2番の順でどうかと思います。

(海老原部会長) この部会としては、1番、3番、2番の順ということで意見を付して提出するということでもよろしいですか。

(舘野部員) 昨年、絹義務教育学校のPTAと南河内中、薬師寺小、吉田東小、吉田西小のPTAとで意見交換を行った際に、学校名について、絹義務教育学校PTAの方から「他から見ると「義務教育学校」は小中一貫校とは見なされない。「絹義務」といわれるのが嫌だ。アンケート、ちゃんと書けばよかった。」という声もあったということを知りました。「南河内学園」にしても、私立なのか公立なのかわかりにくくなるのではないかと思います。

(海老原部会長) 「義務教育学校」という名称自体が、一般の方には認識が薄いような状況であるということですね。

(舘野部員) 特に、年配の人にはわかりにくいという認識なのかなと思います。

(海老原部会長) 幅広い方が認識しやすい学校名ということになりますか。これまでのご意見からすると、一番多くあった1番の「南河内小中学校」を1位、3番の「南河内学園」が2位、2番の「南河内義務教育学校」が3位という順位が、部会としての順位ということでもよろしいでしょうか。

「いいです。」の声。

(海老原部会長) そのような形で、後は文面を整えて、設立準備委員会の方に提案できるようにしていきたいと思います。

(2) 歴史コーナーについて

(海老原部会長) 続きまして、歴史コーナーについて、事務局より説明をお願いします。

(上野CO) [資料：旧国分寺西小学校『校長室』の展示物と配置] [資料：絹義務教育学校『歴史館』の展示物と配置] について説明

(海老原部会長) 南側と北側がガラス窓になっているこの部屋は、地域の交流広場としての会議室となるので、展示スペースもかなり制限されてくると思います。基本的に、南河内中はここに残すと思いますが、他の小学校は、どの学校も140年以上の歴史があるわけで、こちらに持ってくるもの、また、学校に残すものをかなり精選しなければならないと思います。ところで、確認なのですが、学校にも残せることを前提にしてよいのでしょうか。

(田澤部員) それぞれの小学校の校舎については、市の方で進めている公共施設マネジメントの関係で、今後の使用用途が決まることになっていきますが、それは、開校に合わせて決まるというよりは、閉校した後に決まっていくということになります。どのような使い方をするかということは、現在では全く見えない状況にありますので、とりあえず各学校にお願いしたいのは、旧校に残せるものもあるという前提で、義務教育学校に持ってくるものと旧校にそのまま置いて置くものという形でご報告いただきたいということです。それが、今回の趣旨になります。とりあえずは、まだ学校は残る方向で考えていただきたいと思います。

(竹田部員) メモリアルコーナーは何のために作るのかということを確認したいと思います。大平中学校と大平南中学校が分離する時に、歴史館を作りました。しかし、現在、物置になっています。見に来る人もいないし、来校者に案内することはありませんでした。歴史コーナーを作ったとしても、吉田東小の方々は見に来るのかな、どれだけ存在価値があるのかなと思いました。吉田東小学校には、『なかよし館』という地元の方が寄付してくださった立派な建物があるのですが、そういった所にきちんとしたメモリアルコーナーを設置した方が、ゆかりのある地にゆかりのある物を残して、懐かしむ時にはお茶を飲みながらそこで懐かしむというのがふさわしいのかなと思います。あえてこちらの方まで足を運んで懐かしむというのは、ちょっとイメージができません。必要最小限のものを義務教育学校に持ってきて、展示する程度でいいのではないかと思います。

(田澤部員) これまで、歴史コーナーについて検討する際には、地域の方が今まで長年をかけて築いた歴史あるものを残すコーナーがあったほうがよいということで、絹義務教育学校や旧国分寺西小学校を参考に考えてきました。しかし、現在、旧国分寺西小学校では、必要な時以外は開けない状

態であり、次の校舎利用のための検査確認をしているので自由に入れな  
い状況になっています。実際に1年近く経ってみて、校舎の一角だけを  
歴史コーナーとして残し、地域の方にオープンにするということがすぐ  
には難しいということがわかりました。地域の方の思いを残せる場所が  
あってもいいのではないかという考えがこの歴史コーナーのスタートに  
なっているので、この部会で、「必要ない」という検討も、その一つに  
挙がっているのではないかと思います。

(竹田部員)

これだけのスペースが物置化してしまうのでは、という心配もあると思  
います。地域の方の交流の場であればいいのですが、地域の方が自由に  
出入りできて、お茶が飲めて、昔を懐かしむようなスペースになれば、  
各校の思い出の品を展示した甲斐があったと言えると思います。そうい  
うところまで視野に入れて話し合わないといけないのではないかと思  
います。ここは学校の中でも一等地。ここがデッドスペースになったら本  
当にもったいないと思います。明確なビジョンをもって、そのためにど  
うしたらいいかと考えないと後付けの理由になってしまうのはいけない  
のではないかと思うので、そこをはっきりした方がよいと思います。

(近藤部員)

このメモリアルコーナーについては、メモリアルコーナーだけではなく  
て、地域開放ということで、会議室とかサロンのような使い方というもの  
も考えながら活用していくことになると思います。展示室とか資料室とか  
という使い方だけではなく、複合的な使い方をしていただきたいと思っ  
ています。小学校の校舎については、跡地利用は未定であり、詳細は決  
まっています。例えば、引き続いて市とか地域の方々が管理してくれる  
のであれば、現在のように残していくことも考えられますが、全く、  
市や公共的な手から離れてしまい、民間等に管理が渡ってしまうと、そ  
ういう活用ができなくなる可能性もあります。

(竹田部員)

絹義務教育学校の『歴史館』に行ったことがあります。かなり、ぎゅ  
っと詰まっていて見づらく、各学校が持って来過ぎていると感じまし  
た。活用の仕方をどうするかを考えた方がよいと思います。

(近藤部員)

展示場所が足りなければ、新校舎の多目的室にも展示して活用というこ  
とも考えられます。

(舘野部員)

ディスプレイがあって、中学校や小学校の歴史を選んで見られる仕組み  
があればいいと思います。展示品を小さくしてたくさん詰め込んで、よ  
く見えないままでは意味がないのかなと思うので、見たい人が見たい学  
校の歴史が見られるだけでもいいのではないかと思います。わざわざ学  
校に来るのは、気が重いということもあります。行方市の「焼き芋ファ  
クトリー」は、校舎が工場になっていて、見学に訪れた人たちは、指定  
コースに沿って見学しながら遊べるような仕組みになっていました。コ  
ースの最後が校長室になっていて、そこに、旧国分寺西小学校のような  
展示がしてあります。校庭はそのままになっていて、子どもたちが遊ん  
でいるという光景。観光バスや車で一杯になっていました。そのよう  
に、学校も保存されて、地域が活性化されるような企業が入るのであれ  
ば、そういうのもいいなあと思います。市が、そういう事例を紹介し

て、企業に学校の跡地利用にどうかと働きかければ良いと思います。

(海老原部会長)

民間利用の上でのコラボということですね。

(倉井部員)

この会議室は、地域開放ということを前提で作られました。廊下側から鍵が閉められ、校舎が施錠されていても、外から独自に入れるように改修されたと聞いています。本校の学校運営協議会委員で、記念に残るものとして、写真で手元に欲しいという人もいました。ここに飾るだけでなく、写真とかリーフレットにして手元に欲しいということでした。そのように、お金を払ってでも見たいという地域の人はいると思います。

(田澤部員)

それは、閉校記念誌のようなものをデジタル化して、閲覧できるような仕組みということでしょうか。

(倉井部員)

旧国分寺西小の閉校記念誌は、子どもたちの写真もたくさん掲載されていますが、歴史的な事物、例えば卒業写真とか、そういうのを見たいとおっしゃっていました。

(川俣部員)

デジタル化は良いと思いますが、個人情報取り扱いについてはどうでしょうか。

(倉井部員)

その方は、リーフレットで、冊子でおっしゃっていました。

(海老原部会長)

集合写真を記念誌に掲載するのは大丈夫だと思います。見たい方もいるということも考慮して、記念誌の作り方の工夫も必要かと思います。基本的に、使えるのは壁と棚だけということになりますが、残せるものを残していくということについてはいかがですか。意味づけというか。

(倉井部員)

その冊子で手元に欲しいという人は、高齢なので、そんなにまめに展示場所に行けない、吉田東地区からここまで、遠くてなかなか来られない、ということをおっしゃっていました。そう考えると、地元の吉田東小学校の跡地に展示場所があると、地域の方としては行きやすいのではないのかなと思います。

(伊澤部員)

これだけのスペースですから、全て持ってこられるわけではないし、各学校の共通したもの、校旗とか校歌とかをこの限られたスペースに飾り、それ以外の地域独自の鼓笛隊とかの資料は、地域の中の『なかよし館』などの中に設置し、地域の方がお茶を飲みながら学校の歴史が見られるような形で作ってあげられれば良いと思います。そういう仕分けをせざるを得ないと思います。各地域の学校で特色あるものを展示しておく、そういう形にする他はないと思います。共通のものとしては、各学校の閉校の様子を撮ったビデオとかを映像で見られるとか、そういうのも一つの方法かなと思います。

(海老原部会長)

展示できるものは限られてくると思いますが、この歴史コーナー設置予定の会議室も地域には開放して見ることができるということで、ここに展示できる共通のものをいくつか絞っていく。そして、各学校独自のもの、各学校で飾れるものは、各学校に展示する。ということで、この範囲以内で、見られるもの、飾れるものを残していくということでもいいですか。今日は、この場で提出された各学校のリストを見て検討する時間がないので、リストを見ていただいて、次回までに、この部屋に共通して残すものを考えてきてもらうということによろしいでしょうか。

- (田澤部員) 飾れるのは、壁と柵のみです。窓際も明かりが入らなくなるので壁でふさぐことは考えていません。パネルの活用も今のところは考えていません。また、地域の住民として、部員の方からこれは残して欲しいという意見をいただくと絞り込みやすいと思います。
- (川俣部員) そういう思い入れの強いものは、各学校に展示して欲しいと思います。
- (塩沢部員) 吉田西小学校は、体育館は新しいので残ると思うのですが、付帯のミーティングルームをそういう場所に整備できると、蔵王の森に地域の方が作業に来た時などに、休憩してもらうにはいいかなと思います。新しい学校のこの部屋にあまり持ってこられないので、そういう形で整備できると、地域の方の憩いの場になるかと思います。
- (海老原部会長) 薬師寺小学校もミーティングルームがあります。人目に触れる場所ということでは、適当であると思います。共通のものというに限られてくるので、必然的にだんだん決まってくると思います。これは地元の学校内、敷地内に残したいと思うものと、共通に展示するものについて、次回、検討するという事によろしいですか。
- その他に移りたいのですが、事務局から何かありますか。
- (田澤部員) [資料：閉校・開校に向けてのスケジュール (案)] [資料：学校運営協議会 新組織編成スケジュール (案)] について説明
- (海老原部会長) 閉校・開校のスケジュールは、来年の5月あたりには方向性が決まり、見積もりなど、10月の予算取りまでにある程度のもので決まっているようにするというスケジュールですね。これについては、4校の校長に任せていただいて原案づくりということではいかがでしょうか。それを皆さんに提案させていただくという形で、よろしくお願いします。
- (舘野部員) P T Aの編成スケジュールはないのですか。
- (田澤部員) あります。P T Aの編成については検討開始時期がずれていますので、今回は取り上げませんでした。それについても、各校のP T Aの方を中心にお願いすることになると思いますが、よろしくお願いします。
- (海老原部会長) ご協力ありがとうございました。以上で協議事項を閉じます。